

## 【区域区分見直し】(八幡東区以外)6区の見直し候補地の修正案等について (報告)

### 1 区域区分見直しの目的

市街化区域内の災害リスクの高い地域や人口密度の低下が見込まれる地域などを、新たな住宅宅地開発等により市街化が拡がらないよう、市街化調整区域へ見直すもの。

### 2 候補地修正案の検討の考え方

本取組では、安全性や利便性等の客観的評価や現地調査を踏まえて見直し候補地を選定し、その候補地は住民等の意向を踏まえて修正していくこととしている。

八幡東区と同様に他の6区でも、住民等から客観的評価指標では量れない意見をいただいた。

〔いただいた意見(抜粋)〕

- ▶ 住民の取り込みや入替えがしやすい市街化区域を維持し、コミュニティを維持・増進したい
- ▶ ハウスメーカー等に売却や借家等ができる市街化区域を維持し、土地・建物を活用したい

市としては、多くの地域において、今後もコミュニティ活動や土地・建物の活用を進めるなど、引き続き居住環境を維持していく意向であると受け止め、住民等の意見を反映させた6区の候補地修正案を作成する。

### 3 候補地修正案の状況

詳細は、次ページ参照

### 4 今後の進め方

#### (1) 候補地修正案の説明会

本年夏頃に八幡東区と他の6区の修正案の説明会を開催する。

#### (2) 意見書の提出

今後も引き続き、説明会等で、修正案に対する意見書(「市街化区域の維持を希望」など)の提出をお願いしていく。なお、頂いた意見書は、今後の修正案や都市計画原案に再度反映していく。

### 3 候補地修正案の状況

#### (1)門司区

	面積	人口	建物数
当初候補地	約 375ha	約 12,900人	約 6,200棟
候補地修正案	約 125ha	約 10人	約 60棟
当初候補地に対する割合(%)	約 33%	約 1%	約 1%

#### (2)小倉北区

当初候補地	約 72ha	約 2,200人	約 1,100棟
候補地修正案	約 14ha	0人	約 5棟
当初候補地に対する割合(%)	約 19%	0%	約 1%

#### (3)小倉南区

当初候補地	約 48ha	約 1,000人	約 600棟
候補地修正案	約 7ha	0人	約 5棟
当初候補地に対する割合(%)	約 15%	0%	約 1%

#### (4)若松区

当初候補地	約 224ha	約 6,200人	約 3,200棟
候補地修正案	約 58ha	約 5人	約 35棟
当初候補地に対する割合(%)	約 26%	約 1%	約 1%

#### (5)八幡西区

当初候補地	約 120ha	約 2,500人	約 1,300棟
候補地修正案	約 24ha	0人	約 10棟
当初候補地に対する割合(%)	約 20%	0%	約 1%

#### (6)戸畑区

当初候補地	約 26ha	約 400人	約 200棟
候補地修正案	約 17ha	0人	約 10棟
当初候補地に対する割合(%)	約 65%	0%	約 5%

#### (7)八幡東区(令和4年3月22日公表済)

当初候補地	約 292ha	約 10,000人	約 5,400棟
候補地修正案	約 88ha	約 430人	約 190棟
当初候補地に対する割合(%)	約 30%	約 4%	約 4%

#### (8)八幡東区を加えた全区の状況

	面積	人口	建物数
当初候補地	約 1,157ha	約 35,200人	約 18,000棟
候補地修正案	約 333ha	約 445人	約 315棟
当初候補地に対する割合(%)	約 29%	約 1%	約 2%

※上記各表の人口と建物数は平成27年の国勢調査や都市計画基礎調査結果による

※各表の数値は切り上げ、切り捨ての関係で整合しない場合がある